

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社長自らが、会社のあるべき姿について従業員に説明し、社内で共有している。 ・毎朝のミーティングや、月に1回の会議にて「無駄を省く」「効率よく」「安全第一」等の社長の方針を従業員に伝えている。									8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社長自ら法令遵守の重要性について、毎朝のミーティングにて社員に向けて発信している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先との対話の中で、不当な値引き圧力がないかを確認している。 ・価格変動の通知があった際には適切に従業員に周知している。											10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自らの事業活動が、社会や環境に対し及ぼす正と負の影響を把握し、活動を行っている。 ・SDGs委員会参加者3名を社会・環境問題担当者に任命している。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する勉強会を、社長自ら社員に対し行っている。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の取扱いについてはデータ化し、厳重に管理している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・各取引先とのコミュニケーションを大切にし、通話やWEB会議等にて業務進捗状況、資源価格の情報、新しいリサイクル技術の動向等について情報共有をし、意見・要望等を互いにヒアリングしながら、日々事業活動を行っている。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先と廃棄物が環境に与える影響等、環境問題に関する認識をWEB会議や文書等で情報共有することにより取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・経済産業省の事業継続力強化計画制度に認定されている。									9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・外国人の従業員が多いことから、国籍や性別にとらわれず、様々な意見を聞くことにより、差別をしない体制を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・重機を使用する業務が主となる為、業務中の安全第一に取り組んでいる。 ・重機に乗りオペレーションする担当者と、指示する担当者との声かけ・合図・アイコンタクトを徹底し、事故防止に取り組んでいる。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に則り、従業員の意見を積極的に聞き、コミュニケーションを図りつつ、昇給等においても国籍、性別、年齢等にとらわれない公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・基本的には残業は行わず、従業員の働きやすい環境を整備している。 ・家庭の事情等による休暇取得(時間休暇も含む)も、可能な勤務体制を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務に必要な資格に関しては、費用を会社にて負担している。 ・現場での機器操作の指導については先輩従業員が丁寧に行う等、OJTの体制を整えている。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年に1回会社にて検診費用を負担し、健康診断を実施している。 ・熱中症対策として、作業時に従業員へスポーツドリンクの配布を行っている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・国籍や性別にとらわれず、差別をしない体制を整えている。 ・外国人雇用の促進を行っている。 ・外国人の従業員に対する日本語勉強会を実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策とともに有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・社長を中心として取引先とWEB会議を行っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●						4					8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・熊本県プライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12							

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・回収、配送される廃棄物については分別を行い、適切に処理を行う事で、地域の環境保全に貢献している。 ・作業において排出される油は中和剤、吸油シートを利用し、適切に処理している。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・節電、低燃費車両の導入を図ることにより自社のエネルギー使用量の削減に取り組んでいる。 ・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社の電力・燃料の使用量を把握している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・業務に使用する機器については、環境配慮型機器を使用することでCO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社の二酸化炭素の排出量を把握している。		2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・業務において、回収、配送される廃棄物については種類毎に細かく分別を行い、適切に処理し、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・作業において排出される油については中和剤、吸油シートを利用し適切に処理している。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・会社独自の技術により銅スクラップの再利用を行うなど、本業を通じリサイクルに取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・適切な業者に依頼し汚水処理を行う事で、水質保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・会社独自の技術により銅スクラップの再利用を行うなど、本業を通じリサイクルに取り組んでいる。 ・会社にて再生紙利用や、事務用品のグリーン購入(ティッシュ、備品)を行っている。							9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所および倉庫の照明は、すべてLED照明を採用している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・従業員はマイボトルを持参する事で、プラスチックごみの削減に貢献している。										12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●										9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・トラックのリフトの事前点検についてはチェックシートを使用し、安全対策に取り組んでいる。 ・重機からの荷卸しの際には周囲の確認、声かけを徹底しており、事故防止に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・高齢者のお客様が多い事から、事務所内の段差解消、休憩スペース設置等、誰もが利用しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・会社独自の技術による銅スクラップの再利用により、再資源化の促進を行う事で環境保全に大きく貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・毎年、地域のゴミ拾いに参加する等、社会貢献活動に積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・経済産業省の事業継続力強化計画に認定されており、災害が起きた際にも早急に事業が再開できるように事前の対策を行っている。 ・事務所には水や食料、懐中電灯等の防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・従業員が地域貢献を行う事に対して積極的に推奨し、これに合わせた柔軟な勤務を認めている。 ・従業員3名が、地元の消防団に加入している。 ・事務所に最新の防犯カメラを導入し、自社の防犯に役立てると共に、地域の防犯にも貢献している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs委員会を月1回実施し、環境・社会・経済に対して会社が及ぼす影響等を話し合い、委員会メンバーから全従業員にその内容を情報発信している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・職場体験の受け入れや、実際に地元の若者の積極的な雇用実施等、若者の県内就職を促進する取組みに貢献している。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれらの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。